



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所 東
コード番号 6166 URL <http://www.nakamura-gp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田植 啓之 (TEL) 072-274-1072
四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,191	△34.6	△200	—	△205	—	△265	—
2023年3月期第2四半期	1,821	△0.6	43	△57.5	88	△11.8	△35	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △270百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △40百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△24.05	—
2023年3月期第2四半期	△3.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,292	443	6.9
2023年3月期	4,688	714	15.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 431百万円 2023年3月期 701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	8.4	100	201.6	50	△23.8	1,100	—	99.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	11,020,900株	2023年3月期	11,020,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	11,020,900株	2023年3月期2Q	11,020,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に変更され、行動制限が緩和されたことにより、経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資に持ち直しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら世界経済においては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、原材料・エネルギー価格の高止まりによる世界的なインフレの進行、金融引き締め政策の継続による為替変動、中国における内外需低迷による景気減速など、依然として厳しい状況が続いており、わが国経済を取り巻く世界情勢は、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、特殊精密機器事業において新規顧客の開拓等により、耐摩耗工具関連分野において堅調に推移したものの、中国経済停滞の影響を受け、主力製品である実装機用ノズルの受注が大きく落ち込むこととなりました。同様に化学繊維用紡糸ノズル事業においても、中国向け不織布関連ノズルの受注が低調に推移し、厳しい事業環境となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,191百万円（前年同期比34.6%減）、営業損失は200百万円（前年同期は43百万円の営業利益）、経常損失は205百万円（前年同期は88百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は265百万円（前年同期は35百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業については、耐摩耗工具関連分野における自動車部品メーカーへの販売拡大や、大手ベアリングメーカーとの新規取引の開始等の成果はあったものの、中国経済停滞の影響を受け、主力製品である実装機用ノズルの売上が大きく落ち込み、前年同期実績を上回ったものの厳しい事業環境が継続しております。

これらの結果、売上高は413百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は19百万円（前年同期は7百万円のセグメント損失）となりました。

② 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業については、風力発電用ブレード向け及び航空機向け炭素繊維用ノズルは、旺盛な需要により好調に推移いたしました。反面、炭素繊維以外の化学繊維用紡糸ノズルについては、中国経済停滞の影響によるノズル需要の減少や、日本国内市場におけるノズル需要の低迷により低調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は727百万円（前年同期比44.3%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期は232百万円のセグメント利益）と、不織布製造装置の収益を計上した前年同期と比較すると大幅な減収減益となりました。

③ D-N e x t 事業（旧電子材料スライス周辺事業）

D-N e x t 事業については、当社製の半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤを正式採用する企業が着実に増えており、当第2四半期連結累計期間においては、販売拡大の期待値が高い大手顧客計4社に対し量産販売を行っております。また、ダイヤモンドワイヤ製造装置販売については、インド市場向けを中心に複数企業との商談を継続しております。

これらの結果、売上高は47百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント損失は145百万円（前年同期は116百万円のセグメント損失）と、中国向けダイヤモンドワイヤ製造装置販売の契約対価の一部を計上した前年同期と比較すると減収減益となりました。

④ マテリアルサイエンス事業

新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトについては、引き続き量産顧客獲得を目指したサンプルの提供と、展示会出展をはじめとする認知度向上に取り組んでおります。

なお、前年においてはパイロットプラント立ち上げに係る山全社からの受託収入を計上したため、当期実績は前年同期を大幅に下回る結果となり、売上高は3百万円（前年同期比95.9%減）、セグメント損失は81百万円（前年同期は53百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当社連結子会社の日本ノズル株式会社における新工場の建設及び大型メルトブローンノズル・ダイ製造設備に関する投資として、機械装置及び運搬具が1,203百万円増加、建物及び構築物が543百万円増加したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べ1,603百万円増加し6,292百万円となりました。

② 負債

上記工場建設及び当該設備投資に係る資金として、短期借入金が1,200百万円増加、長期借入金が641百万円増加、1年以内返済予定の長期借入金が91百万円増加したこと等により、負債は前連結会計年度末に比べ1,874百万円増加し5,848百万円となりました。

③ 純資産

利益剰余金が265百万円減少したこと等により、純資産は前連結会計年度末に比べ271百万円減少し443百万円となりました。

この結果、自己資本比率は6.9%（前連結会計年度末は15.0%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ265百万円減少し、1,733百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって支出された資金は、470百万円（前年同期は89百万円の収入）となりました。

これは、税金等調整前四半期純損失266百万円、未収消費税等の増加209百万円、棚卸資産の増加179百万円等の減少要因が、売上債権の減少85百万円、前渡金の減少43百万円等の増加要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって支出された資金は、1,747百万円（前年同期は276百万円の支出）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出1,746百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は、1,943百万円（前年同期は79百万円の支出）となりました。

これは、短期借入金の純増減額1,200百万円、長期借入れによる収入800百万円等の増加要因が、長期借入金の返済による支出66百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日付決算短信において、当期の連結業績予想数値を公表しておりますが、その際に記載した予想数値策定における前提条件から大幅な変更が見られないため、従前の予想数値を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,999,126	1,733,958
受取手形及び売掛金	473,249	388,260
商品及び製品	30,516	26,801
仕掛品	385,721	563,196
原材料及び貯蔵品	123,040	128,888
その他	105,809	284,410
流動資産合計	3,117,464	3,125,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	500,173	1,044,009
機械装置及び運搬具(純額)	226,579	1,430,210
土地	614,882	614,882
その他(純額)	178,936	30,101
有形固定資産合計	1,520,571	3,119,204
無形固定資産	17,815	15,921
投資その他の資産		
投資その他の資産	66,654	65,315
貸倒引当金	△33,923	△33,923
投資その他の資産合計	32,730	31,391
固定資産合計	1,571,117	3,166,517
資産合計	4,688,582	6,292,032

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	247,675	247,252
前受金	186,666	186,666
契約負債	226,439	222,406
短期借入金	2,040,000	3,240,000
1年内返済予定の長期借入金	133,333	224,985
リース債務	19,407	20,303
未払法人税等	13,047	2,229
賞与引当金	60,743	63,826
受注損失引当金	3,079	-
その他	198,962	136,834
流動負債合計	3,129,355	4,344,504
固定負債		
長期借入金	266,666	908,348
リース債務	36,464	61,088
退職給付に係る負債	231,764	226,317
資産除去債務	49,371	49,720
その他	259,987	258,113
固定負債合計	844,255	1,503,587
負債合計	3,973,611	5,848,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	349,042	349,042
資本剰余金	299,042	299,042
利益剰余金	71,192	△193,808
株主資本合計	719,277	454,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△601	△557
繰延ヘッジ損益	△1,345	△544
為替換算調整勘定	△15,842	△21,784
その他の包括利益累計額合計	△17,789	△22,886
新株予約権	13,483	12,550
非支配株主持分	-	-
純資産合計	714,971	443,940
負債純資産合計	4,688,582	6,292,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,821,155	1,191,368
売上原価	1,286,746	920,777
売上総利益	534,408	270,591
販売費及び一般管理費	491,238	471,217
営業利益又は営業損失(△)	43,170	△200,626
営業外収益		
受取利息	275	51
受取配当金	48	25
助成金収入	-	1,441
為替差益	18,419	13,424
原材料売却益	35,373	-
その他	1,434	1,585
営業外収益合計	55,551	16,528
営業外費用		
支払利息	8,481	19,382
その他	1,646	1,833
営業外費用合計	10,127	21,216
経常利益又は経常損失(△)	88,594	△205,314
特別利益		
新株予約権戻入益	169	932
特別利益合計	169	932
特別損失		
固定資産除却損	18,334	-
減損損失	11,505	7,196
訴訟関連費用	66,674	54,870
特別損失合計	96,515	62,067
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,751	△266,449
法人税、住民税及び事業税	25,047	528
法人税等調整額	2,945	△1,976
法人税等合計	27,992	△1,447
四半期純損失(△)	△35,744	△265,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,744	△265,001

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△35,744	△265,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	44
繰延ヘッジ損益	1,546	801
為替換算調整勘定	△6,571	△5,942
その他の包括利益合計	△4,993	△5,096
四半期包括利益	△40,737	△270,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,737	△270,097
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,751	△266,449
減価償却費	53,355	76,312
受取利息及び受取配当金	△323	△76
助成金収入	-	△1,441
支払利息	8,481	19,382
固定資産除却損	18,334	-
減損損失	11,505	7,196
訴訟関連費用	66,674	54,870
未収消費税等の増減額(△は増加)	107,726	△209,947
売上債権の増減額(△は増加)	37,489	85,070
契約資産の増減額(△は増加)	303,688	-
棚卸資産の増減額(△は増加)	223,159	△179,601
前渡金の増減額(△は増加)	△8,164	43,253
契約負債の増減額(△は減少)	△220,844	△4,033
仕入債務の増減額(△は減少)	△375,543	△6,349
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,439	3,083
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△6,413	△3,079
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,736	△5,447
その他	16,709	3,826
小計	212,382	△383,428
利息及び配当金の受取額	323	76
利息の支払額	△8,550	△20,650
助成金の受取額	-	1,441
訴訟関連費用の支払額	△71,905	△56,677
法人税等の支払額	△42,268	△11,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,982	△470,573

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△245,712	△1,746,701
有形固定資産の除却による支出	△18,334	-
無形固定資産の取得による支出	△12,890	△550
その他	-	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△276,937	△1,747,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	1,200,000
長期借入れによる収入	-	800,000
長期借入金の返済による支出	△66,804	△66,666
リース債務の返済による支出	△12,588	△12,587
セール・アンド・リースバックによる収入	-	23,100
その他	-	99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,392	1,943,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,906	8,701
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△256,441	△265,168
現金及び現金同等物の期首残高	2,931,993	1,999,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,675,552	1,733,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

従来、当社グループの有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

連結子会社の日本ノズル株式会社における新工場の建設及び大型メルトブローンノズル・ダイ製造設備の取得を契機に有形固定資産の使用実態を検討した結果、急激な技術的・経済的陳腐化のリスクが低くなり、また今後も耐用年数にわたり安定的に稼働していくことが見込まれることから、費用を均等に配分する定額法を採用することが、有形固定資産の使用実態をより合理的に反映すると判断いたしました。

この変更により、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益が11,842千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ12,935千円減少しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルスの感染拡大が、当第2四半期連結累計期間において会計上の見積りに与えている影響については、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した内容より重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上 高	387,053	1,305,615	54,981	73,505	1,821,155	—	1,821,155
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15,301	—	277	—	15,579	△15,579	—
計	402,355	1,305,615	55,258	73,505	1,836,734	△15,579	1,821,155
セグメント利益 又は損失(△)	△7,242	232,446	△116,934	△53,388	54,881	△11,711	43,170

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1	合計額
減損損失	2,479	—	833	3,499	6,813	4,692	11,505

(注) 1 調整額の金額は、すべて共用資産に係る金額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	413,207	727,435	47,695	3,030	1,191,368	—	1,191,368
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	27,926	55	50	—	28,031	△28,031	—
計	441,134	727,490	47,745	3,030	1,219,400	△28,031	1,191,368
セグメント利益 又は損失(△)	19,930	△6,275	△145,202	△81,727	△213,274	12,648	△200,626

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「化学繊維用紡糸ノズル事業」において、新工場の建設及び大型メルトブローンノズル・ダイ製造設備の取得に伴い、固定資産が増加しました。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「化学繊維用紡糸ノズル事業」のセグメント資産が、1,756,031千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額	合計額
減損損失	5,590	—	1,606	—	7,196	—	7,196

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「電子材料スライス周辺事業」としていた報告セグメントの名称を「D-N e x t 事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。